

Kyoto Building Maintenance Association News No.72

公益社団法人 京都ビルメンニュース 第72号

発行日/2016年1月1日 発行所/公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会



● 新年のごあいさつ

● 2016年 京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会開催

● 平成27年度 第2回経営開発セミナー開催

CLEAN CREW



「文化創生」から新たな京都を

京都府知事 **山田 啓二**



府民の皆さま、あけましておめでとうございます。
昨年を振り返って

昨年7月には、長年の悲願であった京都の南北軸、京都縦貫自動車道が34年という長い歳月をかけてようやく全線開通しました。京都全体に大きな流れを創るこの大事業の完成に尽力された全ての方々へ、心からお礼を申し上げます。

この開通を期し北部7市町においては、4か月にわたり「海の京都博」を開催し盛り上げていただきましたことに対しまして感謝申し上げます。

また、昨年は琳派400年記念事業、さらに国宝「東寺百合文書」と第二次世界大戦後のシベリア抑留者等の引き揚げ記録「舞鶴への生還」の世界記憶遺産登録。そして「日本茶800年の歴史散歩～京都・山城」の日本遺産への認定など北から南まで京都の持つ豊かな文化を示すことが出来た一年でした。

しかし、地方消滅とまで言われる少子・高齢化問題や、雇用情勢が好転すると顕著になる人材不足。円安により輸出産業が伸びる一方、内需型中小企業は原材料高に苦しみ、伝統産業も広幅織物は伸びたのに対し着物の需要はまだ低迷、さらにはTPP問題で農林水産業には懸念が広がるなど、さまざまな課題が改めて浮き彫りになった年でもありました。

京都流の地域創生へ

こうした課題の克服と同時に京都の力を最大限に発揮して、京都の将来を切り拓くことができるよう、昨年10月、「京都流 地域創生～『文化創生』から新たな生活を～」をテーマに「京都府地域創生戦略」を策定しました。

こうした問題の背景には東京一極集中や、大都市や大企業志向に代表されるような価値観の固定化が進む中で格差の広がりがあり、社会が柔軟性を失いつつあるのではという危惧があります。今、京都から、少子化問題・子供の貧困対策、若者の就労支援などでもう一度「人づくり文化」を確立させ、マネーゲームにはない真の豊かさを取り戻すために産学公の力を結集し、技術力に裏打ちされたものづくりの素晴らしさを広め、京都の豊かな農林水産資源を六次産業へと発展させる時代を踏まえた「産業文化」を育成し、京都ならではの伝統・文化に恵まれた大都市と豊かな自然をもつ田園の両方の魅力を享受できる、ある面贅沢な「京都ぐらし文化」を創生させなければなりません。

ん。そしてこうした文化を統合させ、京都が多様性に富み、躍動的な地域として魅力を世界に発信できる「地域づくり文化」へと昇華させていくことが必要だと考えています。

これからの数年は京都の将来を左右する大事な時です。地域創生は他人事ではなくまさに私たちの未来です。

京都には、どこにも負けない歴史と伝統があります。さらには世界水準の大学・研究機関、高い技術力を持った中小企業の集積、豊かな自然環境など魅力的な資源や資産をたっぷり有しています。

「もうひとつの京都」の発信

昨年は「海の京都」を見ていただきました。そして今年は「森の京都」です。京都府の74.3%は森林であり、森は私たちの水を清め、空気をつくり、災害を防ぎ、さらには貴重な木材資源を提供してくれます。何にも代えがたい宝である京都の森の素晴らしさを皆さまとともに分かち合い、次世代に引き継ぐため、「全国育樹祭」を中心に、森の恵みを府民の皆さまに体感していただく「森の京都博」や丹波高原の国定公園の新規指定など、林業の振興と自然保護と森の文化が一体となった「森の京都スタイル」の確立を目指した地域づくりを進めることとしています。

こうした素晴らしい森林を未来に受け継いでいくための財源として、「豊かな森を育てる府民税」の導入を昨年、府議会でご議決いただきました。4月から年600円お願いすることになりますが、どうか府民の皆さまに、この税に対するご理解をいただきたいと思っております。

京都の未来を拓く人をつくり、地域経済を活性化させて仕事をつくり、京都への人の流れをつくる。さらには新しい交流の中で持続可能で魅力と活力のある地域をつくり、そして京都から日本を変える新たな「文化創生」。今多くの観光客が京都を目指しています。単に名所旧跡があるからだけではなく、京都の持つおもてなしの心、人を癒す環境、ほんまもんが持つ力が人々を引きつけているのだと思います。

今年、リオデジャネイロでの夏のオリンピック・パラリンピックが終わればいよいよ東京オリンピック・パラリンピックへの道のりが始まります。その皮切りが、秋に京都で行われる国主催のスポーツと文化の国際フォーラムです。京都の「文化創生」はいよいよ本番を迎えます。府民の皆さまのご協力を心からお願いし、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成27年度「未来の京都まちづくり推進表彰」受賞

平成27年10月15日(木) 京都コンサートホール

昨年の10月、京都市の「自治記念日」にあたる10月15日に、京都自治117周年記念式典が、京都コンサートホールにて、受賞者を含む約800名の出席者を迎え、開催されました。

京都協会からは、花田会長、古河公益事業委員長、長谷川広報委員長、吉川事務局長が出席いたしました。

開式に先立ち、門川京都市長より、「自分たちのまちは自分たちでつくる、自分たちで良くしていくという、市民の皆さんの高いお志と行動によって支えられ、京都市が自治117周年を迎えた喜びを分かち合えますことを、心から嬉しく思います」と式辞を述べられました。

そして、ご来賓の挨拶の後、京都市の発展形成への功労者に対し、「特別功労賞表彰」から「未来の京都まちづくり推進表彰」まで10分類に分けて、表彰状が手渡されました。

京都協会の受賞理由は、「あらゆる世代の“すこやか”な暮らしの実現につながる活動に取り組むとともに、特に他の模範と認められる」とのことで、「未来の京都のまちづくり推進表彰“すこやか”」を受賞いたしました。

25年度は京都府より、26年度は京都市より「教育功労者団体表彰」を受賞しており、京都協会の地道な公益活動が高く評価され、今後のさらなる活動を期待される事だと思われま。



“共汗”のまちづくりが着実に前進！ 共々に明るい未来へ！「文化創生」から新たな京都を

京都市長 門川 大作



あけましておめでとうございます。
この一年の皆さんの御多幸をお祈り申し上げます。
皆さんの御支援をいただき、市長就任後8回目の新年を迎えました。この間、現地現場主義に徹し、六千箇所以上の市民の皆さんの活動の場、市政の第一線を訪ね、京都の今と未来を見つめ、市政改革に邁進してまいりました。その度に、改めて京都の地域力、創造力、それらを支える皆さんの人間力に感動し、感謝感謝の日々です。
多くの方からこんな声をいただきます。デイサービスセンターが近くにできて喜んでいます。京都のまちが、趣のある看板や「門掃き」などで美しくなってきましたね。待機児童ゼロ保育所に入りやすくなり、幼稚園も充実。さらに小・中・高校が地域、PTA、教職員の熱意により画期的に良くなってきましたね。市バス、地下鉄が便利になり、お客様も増えてますね。観光人気都市世界一は私たちの誇りです。京都の都市格の高まりを実感しています。水族館に続き、動物園、動物愛護センターが素晴らしい！ロームシアター京都、鉄道博物館の開館が楽しみです…。市民の皆さんと共に汗する“共汗”で進めてきた施策の確かな前進を、肌で感じています。

府市協調で二重行政を打破し、行政の効率化と行財政改革の断行で財源を確保。また市民の皆さんの御協力でごみは43%減り、年間ごみ処理のコストは106億円削減、福祉等の充実へ。歩まち京都・公共交通優先の取組も着実に進展。マイカーで入浴する方はこの20年で42%から9.9%に減少。四条通の歩道拡幅も御心労おかけしましたが、工事が完成し歩きやすくなり、バスの運行もほぼ順調に。福祉と共に、子育て環境日本一を目指す施策も前進。そんな京都で子育てしたい、住みたいという方が増え、転入される方も増えてきました。

しかし、市民の皆さんや中小企業の皆さんが豊かさを実感されるまでには至っていません。まだまだ課題も山積。京都ならではの文化力、知恵を活かし、経済の活性化、安定した雇用の創出につなぐ、市民の皆さんに「京都に住んでよかった」と心から感じていただけるよう誠心誠意努力します。そのために文化庁を京都に！オール京都で取り組みます。

皆さんの御理解御支援に改めて感謝申し上げます。

2016年 京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会開催

平成28年1月7日(木) リーガロイヤルホテル京都

2016年、年頭を飾る恒例の(公・社)京都ビルメンテナンス協会新年賀詞交歓会が、1月7日(木)リーガロイヤルホテル京都において、井内京都労働局長、山内京都府副知事、門川京都市長をはじめ多くの来賓、並びに会員企業様にご列席を賜り、盛大に開催されました。

まず、下坊総務厚生委員長より、司会の挨拶と開会宣言が行われ、花田会長より、「本日は、井内京都労働局長始め多くの来賓にお越し頂き、誠にありがとうございます。今年も引き続き、障がい者への教育支援活動をはじめ、京都協会として事業の充実を図っていきます」と、年頭の挨拶がありました。

続いて、井内京都労働局長、山内京都府副知事、門川京都市長など、ご来賓の方々より、障がい者の就労支援に対する取組や、教職員清掃作業指導者講習会等、日頃の京都協会の積極的な取り組みに対する謝辞をはじめ、祝辞を賜りました。

また、一戸隆男全国ビルメンテナンス協会会長からは、ご祝辞を賜るとともに、全国協会が50周年を迎えること、そして、4月に東京で開催さ

れる「世界ビルメンテナンス大会」には、京都協会から多くの方に参加していただきたいとの、絶大なる協力依頼がありました。

今回ご出席を賜れなかった 伊吹文明衆議院議員はじめ、各界よりいただいた祝電が披露される中、梶山高志全国ビルメンテナンス協会副会長の乾杯のご発声により、華々しく開宴いたしました。

今年も190名の参加をいただき、各々、名刺交換や挨拶を交わしながら、今年一年の健闘を誓いあっておられました。また、宴の間には「ビルメンこども絵画コンクール入選作品」がスクリーンにて披露されました。

中締め挨拶では、渡守副会長より、「今年も新たな取組に挑戦し、協会を盛り上げて行きたい」との力強い言葉が発せられ、協会並びに会員各社の益々の繁栄を祈念して、一本締めにて新年賀詞交歓会は盛会のうちにお開きとなりました。



「京都・まち美化市民総行動」受賞

平成27年11月1日(日) 10:00~12:00 京都市役所前広場

昨年の11月1日(日)午前10時より、京都市役所前にて「京都・まち美化市民総行動」が開催されました。

当日は、爽やかな秋晴れの中、約3600名にも上る人達が参加され、パレード、啓発活動、清掃活動に分かれて、盛大に行われました。

京都協会からは、朝田監事を始め、吉川事務局長、青年部が参加いたしました。

私たちの町京都は、米旅行誌の2015年版世界人気観光都市ランキングで1位に選ばれ、2014年に続き、2年連続で世界の方々にも最も素晴らしい観光都市としての評価を頂きました。そして、外国の方からの

評価の中で必ず挙げられているのが「街が清潔だ」と言う事です。清掃業界に従事する者として、これほど嬉しい事はございません。

もちろん、私たち清掃業界の努力だけではなく、京都市民の「まちを清潔に」と言う意識が高いからだと思えます。

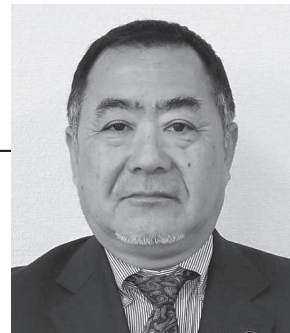
京都協会も微力ながら、「街が清潔だ」と言う世界の評価を揺るぎ無いものにするために、今後も、より一層の活動を行ってまいります。

記事：青年部



新年のご挨拶

公益社団法人
京都ビルメンテナンス協会 会長 **花田之宏**



新年あけまして、おめでとうございます。
皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また平素より当京都協会運営に当たり、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年は皆様のご協力のもと、事業計画に基づき一連の事業を大過なく、無事に実施することができましたこと、改めて御礼申し上げます。
特に、12月2日の経営開発セミナー、品確法の改正に伴う「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン」の説明会を開催し、厚生労働省担当副課長、全国協会興膳専務理事をお招きし、公益法人として広く業界にご案内をし、周知することができました。
昨年10月15日の京都市自治記念式典におきまして、「生涯学習」と云う部門で、当京都協会の障がい者に対する教育等の支援活動が高く評価され、「未来の京都まちづくり推進表彰」を受賞いたしました。

今年の干支は「申」ですが、その意味は果実が熟成して固まっていく状態を表すとされています。それはまさに、当協会に当てはまり、活動が充実してきた時期であります。今年一年、さらなる事業の充実と発展を目指して行きたいと思っております。
ちなみに、来年度より「ビルクリーニング技能士」の複数等級化や「インスペクター制度」の変更等、協会として対応しなければならない大きな課題が山積しており、また全国協会の50周年記念事業、世界ビルメンテナンス大会等の行事も予定されており、会員の皆様のご協力を仰ぎながら、協会運営に邁進したいと思っております。
年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格別のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年度「防除作業従事者講習会」開催

平成27年11月5日(木) 9:00～ 京都府中小企業会館 706号室

昨年の11月5日(木)、平成27年度「防除作業従事者講習会」が京都協会、奈良協会共催にて開催されました。
本講習会は、建築物ねずみ昆虫等防除業の登録要件として定められ、また、防除作業の質の向上と安全施工を目指して毎年開催されており、京都府及び奈良県から25名の方が参加されました。
まず、京都協会 古河理事より開会の挨拶があり、京都府健康福祉部生活衛生課 新野様による「建築物の環境行政」に関する講義から始まり、京都市衛生環境研究所 土佐様による「蚊の形態と防除」、協会講師5名による「ネズミの生態と防除」「殺虫剤の種類」「作業の安全

管理」「作業従事者の責務と任務」などの講義を聞かせていただきました。
長時間の講習にも関わらず、実務経験豊かな各講師の話に、参加者全員が熱心に耳を傾けておられ、多くの皆さんが、明日からの仕事に役立てればとの思いを持って帰途につかれました。
本講習会は、人的要件をカバーするためだけではなく、実務面でも大変役立つ講習会であり、参加各社のレベルアップや商機拡大にも繋がるものと思っております。



第2回「KBMAボウリング大会」開催

平成27年11月6日(金) 18:30～ しょうざんボウル

平成27年11月6日(金)、しょうざんボウルにて、第2回「KBMAボウリング大会」が開催されました。
昨年の初開催の実績も手伝って、57名の参加をいただき、18:30のホイッスルと共に一斉にゲームがスタートし、各レーンでは、ストライク、ガター、スペアーに一喜一憂し、大きな歓声に包まれ、熱のこもったゲームが展開されておりました。
ゲーム終了後は、チャイニーズレストラン「桜蘭」での懇親会が用意されており、山本副会長の挨拶と乾杯のご発声で開宴され、各テーブルでは、美味しい中華料理に舌鼓を打ちながら、ボウリング談義に花が咲き、投球後にこけたとか、ガターばかりやと、ストライク・スペアーの話より、失敗談で大いに盛り上がっておりました。

そして、下坊総務委員長の司会にて、結果発表が行われ、ブービー賞から順番に飛び賞が発表されて行き、名前を呼ばれた方は満面の笑みで賞品を受け取られ、「しゃぶしゃぶ用お肉三年分」とか、司会者の軽妙なお喋りで大いに盛り上がった表彰式となり、和やかな雰囲気の中、藤井副会長の中締め挨拶にてお開きとなりました。
賞品を協賛いただきました企業様には、心よりお礼申し上げます。



<結果発表>

優勝	高橋 透友((株)白青舎)
2位	北野 晋平(装栄(株))
3位	藤木 敬三((株)丸起)
BB賞	藤野 孝規((株)コーエーピービーエム)

特報 高所作業(ロープ吊り)における労働安全衛生規則の一部改正

昨年8月に標記省令が公布され、一部を除き平成28年1月1日より施行されております。また、平成28年7月1日より新たに、安全衛生特別教育規定も適用されることとなっております。特にご確認頂きたい事項は、以下の項目です。

- 高所作業(ロープ吊り)を実施する場合、当該作業を指揮・監督する者を選任すること。
- 実際の作業を実施する者すべてが、特別教育(学科及び実技)を受講した者であること。

会員企業が元請けとして直接作業をされていない場合でも、元請け責任を問われる場合もありますので、協力業者並びに下請業者にも周知徹底して頂きますようお願い致します。

※詳細は、厚生労働省のホームページ(ロープ高所作業)にてご確認願います。

「アビリンピックに向けた教職員清掃作業指導者講習会」開催

平成27年12月16日(水) 京都府中小企業会館7階 708会議室

京都府中小企業会館7階708会議室において、1月30日(土)に、京都府立京都高等技術専門学校・京都府立京都障害者高等技術専門学校で開催される「第13回 アビリンピック京都大会」に向け、出場者が日頃、通学・通所・就労している、学校・施設・会社の指導者の方々に向け「教職員清掃作業指導者講習会」が開催されました。

この「教職員清掃作業指導者講習会」は、アビリンピック京都大会への出場希望者だけでなく、就労を目的とした方への育成担当をされている方々に対し、指導者としての、技術・知識及び安全意識の向上を図ることを目的として開催されており、今回は5名の指導者並びに、大阪の施設より3名の見学者が参加されました。

講習内容は、アビリンピック技能競技に即した課題で行われ、カーペット床清掃、弾性床清掃及び机上清掃の順番で実施され、参加者は競技手順をよく認識しているものの、一つ一つの作業動作にはバラ

ツキがあり、それを修正しながら、基本に即した手法を取得して頂くために、京都協会の講師から実技を兼ねて、事細かく指導を受けておられました。

参加された方々より、「指導中は厳しく生徒たちに接している自分たちが、実際、手順に沿って実技をやってみると、一つ一つの作業の大変さを再認識することができました」と言葉が漏れておりました。

講習会終了時には、受講者一同には、疲れた表情の中にも満足感が窺われ、受講生の方より、今後の指導に役立てて行きたいので、年1回の開催をお願いしたい旨、協会に対し依頼がありました。

京都協会公益事業委員会としましては、今後も引き続き講習会が開催出来るよう、前向きに協力させて頂きたいと考えております。



平成27年度 第2回経営開発セミナー開催

平成27年11月5日(木) 9:00~ 京都府中小企業会館 706号室

経営開発委員会主催によるセミナーが、平成27年12月2日(水)に開催され、滋野経営開発委員長の司会により、先ず、京都協会 花田会長の挨拶、続いて、全国協会 梶山副会長より挨拶があり、講師としてお越しいただいた、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部生活衛生課課長補佐 東 好宣様の紹介及び、臨席いただきました、京都府 健康福祉部 生活衛生課 主査 新野寛様、京都市 行財政局 財政部 契約課 物品契約係長 西谷竹二様の紹介があり、セミナーが始まりました。

参加者90名を前に、東講師による「公共工事の品質確保に関する法律(品確法)」(ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン)に関する話が始まり、「このガイドラインはビルメンテナンス業務の発注者側、即ち、自治体の実務向けに作成されたものでありますが、その業務の受注者側であるビルメンテナンス業の方々にも、ガイドラインへの理解を深めていただき、共に考えていただく良い機会に成ればとの思いで説明をさせていただきます」と述べられました。

先ず、ガイドラインの作成趣旨は、「品確法」の基本理念の一つとして「公共工事の品質は完成後の適切な点検、診断、維持、修繕その他の維持管理により、将来にわたり確保されなければならない」と掲げられており、公共建築物の維持管理を継続的に適切に行うためには、日常の建築物の維持管理業務を担うビルメンテナンス業について、ダンピング受注の排除、担い手の中長期的な育成・確保を通じて健全な育成を図っていくことが不可欠であることから、ビルメンテナンス業務固有の事項について、ガイドラインとしてとりまとめたものであるとの説明をされ、具体的内容については、「発注関係事務の適切な実施」として、維持管理計画の策定(施設の点検・保守その他の中長期の維持管理について、実施内容、実施時期、概算額等に係る計画)に始まり、業務発注準備段階として、建築物の特性に合った適切な入札契約方式を選択するよう努める。そして、最も重要と考えているのが、「現場条件を踏まえた適切な仕様書等の作成」であり、業務に必要な全ての事項を確実に盛り込むことにより、積算内容との整合性が図れることに繋がらなければならないと力説されました。例として、仕様書に「トイレ清掃1日2回実施」と書いてある場合、朝1回、昼前1回で午前中に作業終了、午後は汚れ放題と言う実態があると話されました。

また、業界にとって大きな問題である「適正価格の確保のための予定価格の適正な設定」ですが、業務を実施する者が適正な利潤を確保できるような努めなければならないと言いつつも、無益なダンピング合戦をしなくてはならない入札環境、この様な入札環境を改善するためには、適

切に作成された仕様書等に基づき、経済社会情勢の変化を勘案し、市場における労務及び業務実施の実態等を適格に反映した積算を行い、積算に用いる価格が実際の取引価格と乖離しないよう、発注側も受注側も努めなければならないと述べられました。

入札担当官から、「あなた達が勝手にダンピング合戦をやっただけでしょ」と言われたことに対し、ビルメンテナンス業界は大いに反省しなければならないことだと言えます。

入札契約段階では、「適切な競争参加資格の設定」「競争参加資格者の審査等」「競争参加者の業務実施能力の適切な評価項目の設定等」があるが、競争参加者の社内にインスペクター資格者が居る事により、社内評価の信憑性が上がることも考えられるのではと述べられました。

業務実施段階においては、「維持管理に関する情報提供」「業務履行条件の変化等に応じた適切な仕様書等の変更」「業務履行中の実施状況の確認等」があるが、現場における業務実施状況の確認が行われているのか、また、「業務完了後の適正な履行検査・評価等」が行われているのか、受注者まかせにならないよう、「業務完了後の適切な履行検査・評価等」が確実に実施されることが望まれます。と1時間30分にわたり、詳しくお話しいただき、あっと言う間に時間が過ぎておりました。東様、長時間の講義、ありがとうございました。

5分の休憩を挟み、全協の専務理事 興膳 慶三様より、「4年にわたり、厚生労働省に対し、公正な入札制度の制定についてお願いし続けて来たことが、ようやく実を結び、お願いさせていただいたことの90%以上が盛り込まれたガイドラインを作成していただいたことに感謝しております」と述べられ、そして、「この制定していただいたガイドラインに対し、我々の業界がどの様にお答えしていくのが、これからの大きな課題であると考えております」と述べられました。

続いて、「平成26年度 業務委託の入札制度に関するアンケート調査結果報告書」にそってお話しをされ、インスペクター資格を28年度には統一を図る件、「エコチューニング」のビジネスモデルの一例として、ビルの運営改善等で削減された光熱水費を、ビルオーナーと管理会社等で利益として分け合うというお話。また、全協として「エコチューニング推進センター」の創設を検討しておりますと話されました。

セミナー終了に際し、京都協会 渡守副会長より、講義いただきました東課長補佐はじめ、京都府 新野主査、京都市 西谷係長、全協 梶山副会長、他県協会会長及び、講習参加者各位に対しお礼を述べられ、有意義なセミナーが終了いたしました。以上



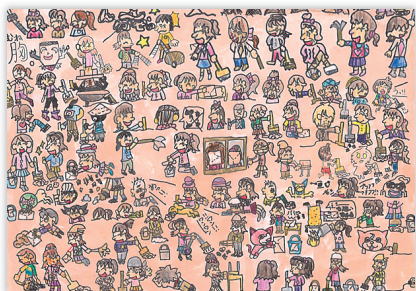
我が社の 取り組み

和光環境サービス株式会社

会社設立30周年の節目にあたり、事務所の内外装の修繕工事を行いました。
以前より完備しておりましたビルクリーニング技能士検定用の練習コート及び、資機材を一新し、さらなる技術の充実と向上を図るべく整備致しました。今後におきましても、弊社従業員が常に業務を行う上で果たす役割を自覚し、快適・安心なサービスの提供に向けて邁進していく所存でございます。
今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第9回「ビルメン子ども絵画コンクール」結果発表



<金賞 リンレイ賞>
本 ちはるさん(6年生)
[京都市立西総合支援学校]
●作品タイトル「みんなできれいに!」



<銅賞>
橋本 陸くん(4才)
[和光建物総合管理(株)]
●作品タイトル「未来も元気におそうじ」



<銅賞>
古村 惺美さん(2年生)
[株浄美社]
●作品タイトル「花のにおいのするそうじき」

コラム

「歳祝い」の言葉

日本には、健康長寿を願う歳祝いの言葉があります。

◎60歳・還暦
満60歳で干支が二巡りし、生まれ干支に還ることから。

◎70歳・古希
「唐」の詩人、杜甫の「人生70古来稀なり」にちなんで。

◎77歳・喜寿
「喜」の字の草書体の形が「七十七」に見えることから。

◎80歳・傘寿
「唐」の詩人、杜甫の「人生70古来稀なり」にちなんで。

◎88歳・米寿
「米」の字を分解すると「八十八」になることから。

◎90歳・卒寿
「卒」の文字の略字「卒」が「九」と「十」に見えることから。

◎99歳・白寿
「百」の文字からを引くと「白」の字になることから。

◎100歳・百寿
百歳を迎える長寿のお祝い。百歳以降は、毎年祝います。



KBMA Information [1月から3月の予定]

【公益事業委員会】

- ビルクリーニング基礎講座・基礎
 - ・1月6日 京都府中小企業会館 801会議室
 - ・1月12日 京都府中小企業会館 801会議室
 - ・1月19日 京都府中小企業会館 801会議室
- 貯水槽清掃作業従事者研修
 - ・1月22日 京都府中小企業会館 710会議室
- アビリンピック京都大会出場者練習会
 - ・1月25日・28日 京都府中小企業会館 801会議室
- アビリンピック京都大会
 - ・1月30日 京都府京都高等技術専門学校
- 清掃作業従事者研修指導者講習
 - ・2月5日 京都府中小企業会館 802会議室

【総務厚生委員会】

- 新年賀詞交歓会
 - ・1月7日 リーガロイヤルホテル京都
- 【広報委員会】
- 委員会開催
 - ・1月26日 協会事務局 会議室
- KBMAニュースVol72(冬号)
 - ・1月 発行予定
- 【経営開発委員会】
- 委員会開催
 - ・2月16日 協会事務局 会議室
- 【安全衛生委員会】
- 委員会開催
 - ・2月8日 協会事務局 会議室

会員の変更事項

【正会員】

- 代表者変更
 - 東宝ビル管理株式会社 京滋支店
取締役支社長 東辻浩典氏
(平成27年12月1日変更)
 - 有限会社まこと美装
代表取締役 森 貞文氏
(平成27年12月18日変更)



KBMA
京都ビルメンニュース
第72号(2016年冬号)
Kyoto Building Maintenance Association News

編集人:広報委員会 発行人:花田之宏
発行所:公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会
〒615-0042
京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F
TEL:075-314-8021 FAX:075-314-3860
ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

ビルメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか?

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。
詳しくはホームページ「(公社)京都ビルメンテナンス協会検索」をご覧ください。
ご覧頂くか、協会事務局までご遠慮なくお問い合わせください。